

## 1 国語に関する調査

## 【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題の正答率が他の問題に比べて高い。物語や意見文、スピーチ原稿を書く学習など、構想を練りながら集めた材料を整理する学習活動を計画的に行った成果だと考えられる。
- 行書の特徴を理解することができている。実際の文字のどの部分にどんな特徴が表れているかを確かめたり、動画を視聴して筆の使い方を確かめたりする学習を大切にしたらうえで、実際に書いたことにより、行書の特徴の理解が深まったと考えられる。

## 【課題】

- 目的に応じて必要な情報に着目して要約する問題では、他の問題に比べて無解答の生徒が多かった。雑誌の記事などを教材として用いて実生活とのつながりを意識させ、文章全体の内容を短くまとめたり、必要な部分を取り出してまとめたりする授業を充実させる必要がある。
- 表現の技法についての理解に課題がある。学習した表現の技法の名称を、情景や心情を伝えるために表現の工夫がされている詩歌と結び付けて確認し、その知識を学習活動の中で使えるように指導する必要がある。

## 2 数学に関する調査

## 【特長】

- 「関数」の領域では、グラフの傾きや交点の意味について、理解することができている。授業の際、グラフや式の意味を言語化することを、繰り返し確認できていたからだと考えられる。
- 「データの活用」の領域では、簡単な場合について、確率を求めることができている。授業の際、基本問題に取り組む時間を設定したことによる成果だと考えられる。

## 【課題】

- 筋道を立てて考え、証明することに課題が見られる。証明全体の流れの見通しを持てるように、また、それに基づく根拠が説明できるように、数学的活動を充実させる必要がある。
- 数量及び数量の関係を文字を用いた式で表すことに課題が見られる。言語から式、式から言語に言い換えられるように、数学的活動を充実させる必要がある。

### 3 生徒質問紙の結果より

#### 【特長】

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が高かった。今後も道徳科や総合的な学習の時間等、学校生活の中で、いじめ防止に対する啓発を進め、生徒へのサポート体制を充実させていきたい。
- ・「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が高かったため、他者理解を含め協力しながら活動できるよう支援を継続していきたい。

#### 【課題】

- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が比較的低かった。教員の生徒に向き合う時間の確保とともに学習指導員とスクールカウンセラーによる支援を充実し、不安などの聞き取りを図りたい。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が比較的低かったため、資源ごみ回収や地域の行事等への参加を促し、地域を大切にすることを育てたい。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・ユニバーサルデザインを意識した授業改善を行い、すべての生徒が分かったと実感できる授業実践に取り組んでいく。
- ・具体物や実生活を意識できる教材を工夫し、生徒に興味を持たせることで、主体的に学習に取り組む態度を引き出していく。
- ・教えあい学びあう機会を多く取り入れることで、学習の定着を図っていく。
- ・教育相談を充実させ、困り感を持った生徒への支援の充実に取り組むとともに、いじめ防止プログラムやソーシャルスキルトレーニングを通し、他者理解を深められるようにする。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・インターネットやゲーム、スマートフォン等の扱いに関する家庭内のルールを確立し、生活リズムが乱れたり、健康が害されたりしないように留意してください。
- ・ご家庭での会話に学校からの便り（校長室通信、学年通信、学級通信、保健だより、OASIS通信など）を取り上げて、お子さんとともに考え、他者との比較ではなく、お子さんが頑張ろうとしていることへの支援をお願いします。
- ・地域における行事等も再開されつつあります。地域を誇りに思う心を育てるために、生徒が地域で活躍できるようをお願いします。